

北海之光

9月号 北海道教区報

主はわたしたちに道を示される
わたしたちはその道を歩もう

イザヤ書2章3節

発行所 北海の光社
001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

FAX 011-736-8377

E-mail:hikari@nshk-hokkaido.jp

http://www.nshk-hokkaido.jp

発行人 笹森田鶴

「問いかける神」

帯広聖公会牧師・有珠聖公会管理牧師
司祭 ペテロ 大町 信也

私たちは、聖書の言葉の中に人生における悩みや苦しみを、そして疑問などに対する「答え」、つまり「回答」を捜そうとしますが、実は聖書の中には私たち一人一人に対する神様からの「問いかけ」の言葉が満ちています。

旧約聖書を開いてみますと、まず創世記の三章において神様からの最初の問いかけを見出す事ができます。エデンの園でアダムとエバが、取って食べてはいけないと神様から言われていた木の実を食べてしまい、二人は恐ろしくなつて木の間に隠れました。その二人に神様は、問いかけます。「どこにいるのか(創世記三・九)」と。これは、神様と人間との関係に対する根源的な問いです。

前の弟アベルは、どこにいるのか(創世記四・九)」と。これは、兄弟たる隣人との関係を、どう生きているかを問う問いです。

一方、イエス様も又、問いかけるお方でした。嵐の夜、ガリラヤ湖上の小舟の上で怯えている弟子たちに「なぜ怖がるのか(マルコ四・四〇)」と、問われます。これは日々、何がしかの恐れに囚われていてる私たちに対する問いかけでもあります。

盲人バルテマイに「何をして欲しいのか(マルコ一〇・五一)」と、問われます。これは今の自分の状況から脱して、あなたはどのような未来を描きたいのか?という問いかけです。

イエス様は、善きサマリヤ人の譬えを話された後に「誰が、おいはぎに襲われた人の隣人になったと思うか(ルカ一〇・三六)」と問われます。

これは、「あなたは、誰の隣人として生きているか?」という私たちに対する問いかけです。

イエス様は、空腹の群集を去らせようとした弟子たちに「パンは幾つあるのか(マルコ六・三六)」と、問われます。これは、私たちが欠乏にとらわれる時、神様の祝福へと目を向けさせる問いかけです。

イエス様は「あなたがたは、わたしを何者だと言うのか(マルコ八・二九)」と問われます。これは、「汝と我」という二人称の関係を神様との間に確認しなさい、という問いかけです。

復活のイエス様は「婦人よ、なぜ泣いているのか(ヨハネ二〇・一三)」と、墓の傍らで泣いているマグダラのマリヤに問われます。これは、死の恐れと嘆きから、復活の命、永遠の命へと、向き直りなさいという私たちに対する問いかけです。

また、復活のイエス様は、ペトロに三度も問います。「わたしを愛しているか(ヨハネ二一章)」これは、私との愛に結ばれた関係を生きよ!と

のイエス様からの招きです。

人は、大切な存在であるからこそ問いかけます。泣いている赤ちゃんに「どうしたの? お腹がすいたの? ウンチが出たの?」と問いかける時、泣いて帰ってきた子どもに「今日、学校でどんな事があった?」と問いかける時、そこには愛があります。旅人に「今日の宿はありますか? お腹が空いていませんか?」と問い、倒れている人に近づき「大丈夫ですか?」と問いかける時、そこには相手に対する深い関心があります。

同様にイエス様の問いの動機は、私たちに対する深い愛と感心に他なりません。そして私たちは、神様の愛の対象であるが故に神様から問いかけられる存在なのです。神様は、私たちに一人ひとり対して、特別な問いかけを用意して下さっています。その問いかけは、とりわけ悩みや苦しみに、悲しみや行き詰まりの中で、神様から私たちに投げかけられます。その問いかけを、聞き分け、全霊で受け止め、誠実に答える者でありたいと思います。



—心の窓をひらく—

福音と私(二七三)

—今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか—

札幌聖ミカエル教会信徒

パウロ 横山 光紀

【わたしの好きな聖句】

なぜなら、私は、弱いときにこそ強いからです。

コリント第二 一二章一〇節

私は今、法人の人事部門で、採用から研修、組織づくり、場合によってはハラスメントなどの対応をする仕事をしています。また、小さな会社を経営し事業の立ち上げなどをやってきました。もともとと工学系化学分野の出身で人事とはまるで縁遠いですし、そもそも学生の時には企業には人事という仕事があることすら想像もしていませんでした。運命というものはどうにもコントロールできないものだなと、今更のように思います。若いころは何でもできると思い、また両親をはじめ周囲の人々に対して、自分より愚



いいます。どこか神に対する恐れを抱いていましたが、起きた出来事には、まったくもって神の愛を感じませんでした。

かにおもえて高慢な日々を送ってきました。そんな中で私自身は幸せだなど思っていたのですが、自分の高慢さの故に家庭を壊してしまいました。家族には大きな負担をかけました。二人の息子には大好きだった母親の存在をないものにしてしまいました。両親に対してはやつと子育ても終わり新しい人生を歩もうとしていた矢先に大きな負担をかけてしまったとおもいます。

家族が崩壊した時に、「神なんか、いない。なんで自分がこんな目に合うのだ」と強く思いました。子どものころからいつも「いつも神さまは見ているよ。お父さんやお母さんに嘘をついても神さまはみているんだからね。」そんな風に育てられたようにおも

いような許されないこと、一つや二つあるだろうと思いません。

私は仕事でも、たくさんの方々の相談を受けることがあります。相談の根深いところには、「自分を責める」、「自分を認められない」等、皆事情や背景が違っても、もがいていることを知りました。私の相談のスタイルもだいたい変わってきた気がします。教会に通ううちに、学ぼううちに、皆さんに受け入れられるうちに、慰められるうちに、自分自身が本当に許されているように思っています。心に秘めている重荷が次第に軽くなっていききました。

仕事を通じて今の妻と出会いました。実は高校の部活の後輩でしたが、互いに卒業後はまるで接点はなく、名刺交換をしてびっくりしたのを覚えていますが、その頃は少し私も教会の癒しに確信をもてるようになってきていたので、信仰を共にする相手であればパートナーとして新たに生活を歩んでみたい、やり直してみたい、と思ってきました。

また、同じような罪の意識を彼女も抱えていたので、その点は互いに尊重しあえるし、分かり合えるであろうとも思っていました。家族が一度に六人になり人生のリセットボタンを押した気持ちで新しい生活を始めました。これも「許されている」そう思えたから一歩踏み出したのです。

新生活も仕事も順調とは言いがたいです。自分の在り方がまだまだなのでしょう。たくさんの方々を傷つけ、見下す癖が出ます。また他人の成功を妬み、自分を蔑む癖が出ます。家族を責める癖が出ます。たとえ真摯に頑張ったとしても思い通りにいかないことも多いかもしれません。無力感を感じるときの方がいいかもしれません。でもその時に勇気が出る言葉として「わたしは弱いときにこそ強い」というパウロの言葉を思い出しかみしめます。つらい時しんどい時こそ神の恵みがあるのだと、気持ち奮いたさせます。神の声は聞こえてこないけど……。

常置委員会報告
第一〇回 八月一八日

《協議事項》

- 一、第八三(定期) 教区会に
関する件
- ・書記に(長) 上平司祭、三

浦執事を選任した。

・聖餐式説教者を、越山健蔵

司祭に依頼することとした。

・議事日程について協議した。

二、二〇二四年度教区費・教

役者給与会計予算(案) に関

する件

・同予算案を常置委員会とし
て承認した。

三、二〇二四年度「チーム北

国」関連予算について

・特別会計に宣教協働資金を

設け、向こう五年間の予算は

カイロス資金を原資として支

ります。

夏の強い日差しの中でデ

ニング司祭のお墓を探しま

した。四年前に他界したわ

たしの父の埋葬場所でもあ

る仙台基督教会の共同墓地

から少し離れた場所に、そ

のお墓はありました。他の

外国人墓地からも少し離れ

てひとつ、高い杉の木々の

間に、十字架もなく、司祭

であることも聖公会の文字

も刻まれていないデニング

司祭のお墓を見つけまし

た。どんな思いで晩年を過

ごされ、またどのような意

志でこのような埋葬となっ

たのか。一方この方の献身

によって今のわたしたち北

海道教区の土台が築かれた

感謝の思いとが、複雑によ

ぎります。しばらくその場

で祈り続けました。暑い日

でした。

義 マリア・グレンス 笹森 田鶴



主教室から

四月、植松誠主教さまか

ら、仙台市北山の輪王寺靈

園に英国聖公会宣教協会

(CMS)から北海道へ派遣

された宣教師ウォルター・

デニング司祭のお墓がある

ことを教えていただきました

た。また二〇一九年四月、主

教室より」に掲載された「デ

ニング司祭の墓参についての

記事の原稿も送っていた

だきました。それ以来いつ

か、いいえ、宣教開始一五

〇年の前に、ぜひ墓参をと

願っておりまして。

ご存知のように、デニン

グ司祭は一八七四年五月一

六日函館の地に到来し、キ

リスト教伝道を開始、さま

ざまな方をキリスト教へと

導いた方です。江戸時代か

ら続いていたキリス

ト教禁制の高札が一

年前に撤去されたば

かりの時代です。キ

リスト教への理解も乏し

く、誤解や不信の言動を浴

びながらも宣教活動を展開

するには、並大抵の努力や

忍耐では実現されなかつた

ことでしょう。それにも関

わらず、函館から始まっ

たデニング司祭の伝道は、

様々な喜びや困難を経なが

ら、平取、札幌へと展開さ

れていきます。

しかし八年後、残念なこ

とに神学的な立場の違いに

よりCMSから英国に呼び

戻され、解任されてしま

います。その後再び来日され

ますが、北海道でも教会で

もなく、仙台の旧制第二高

等学校(現東北大学)で英

語教師となり、そこで六七

年の生涯を終えることとな

十 教区逝去教役者
記念聖餐式

一〇月二一日(水)

午前二〇時三〇分

於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

司祭 森 安延 衛

一九四五年一〇月九日

主教 八代 斌 助

一九七〇年一〇月一〇日

伝道師 笠 間 伊太郎

一九〇二年一〇月一五日

司祭 芥 川 寿 哉

一九七五年一〇月二〇日

伝道師 石 川 光 子

一九六八年一〇月二二日

司祭 江 口 博

二〇〇三年一〇月二二日

歴文の窓二〇二三(二)
教区の曙と聖歌五四〇番

「やさしき息吹のくし
き恵み おろかなわれを
も 招き入れる」で始ま
る「アメージング・グレ
ス」は多くの教会で歌わ
れ、また誰もが知る美し
い曲だが米国発祥の黒人
霊歌ではない。この詩の
原作者ジョン・ニュート
ンは英国国教会の司祭で、
一七七三年の元旦説教の
ために作った詩と記録さ
れている。彼は詩人カウ
パーと多くの聖歌を作り
「オルニー讚美歌集」を
編纂する。当時の英国で
はこの曲は余り注目され
ず、米国南部のメソジス
ト派やパプテスト派の説
教者が伝道で用いて人気
を得ていったという。じ
つはニュートンは西アフ
リカからヨーロッパや北
米に黒人奴隷を運ぶ奴隷
貿易で富を得ていた船乗
りだったが、ある転機を
得て改心し司祭となった。
彼と交流のあった一人の
国会議員が一七九九年に
伝道団体CMSを発足さ
せ、七五年後にその宣教
師によってその種が函館
に蒔かれた。

歴史文章保管委員長

下田 尊久



札幌・仙台を交互に訪問して毎月開催される「チーム北国」のミーティングでは、それぞれの教区の状況をお互いに共有しながら、今年度の課題に向かって進んでいます。

第四回ミーティング(六月二九日仙台)では、チームが円滑に機能するための組織づくりについて協議しました。その中で、「宣教協働」「広報」「組織」「財政」の四つのセクションが設定され、チームリーダーが決まりました。今後は両教区からのメンバーを加えて、拡大メンバーでセクション・ミーティングを行い実際に動き出します。

第五回ミーティング(七月一七日札幌)では、宣教協働の目的と方向性を共有するために、「なぜ」どのように「何を」を誰もが理解できるように簡潔に示した「ミッションステートメント」の作成に向けて協議をしました。今年

は「二〇二三年宣言」として、両教区の宣教協働ならびに教区再編についての展望を示すことができるよう、引き続き話し合っていきます。

前回のミーティング以降、両教区の協働に関わる「動き」として、宣教協議会に参加する北海道教区、東北教区の女性メンバーによる「井戸端会議」が計画されています。

東北教区教役者会(八月一日〜二日)に笹森田鶴主教をお招きしました。また、一月一八日〜一九日に函館で開催される北海道教区教役者会には、東北教区教役者が全員参加、合同教役者会とするこ

とが決定しています。ミーティングの中で、違い

を見出す楽しさや多様性を得る豊かさを感じ、お互いの距離がさらに近いものになっていくことを実感しています。この「楽しい」がキーワード

になって、みんなでこれからの宣教協働に向かうことができたらと願っています。第二回 東北教区 アイリーン 坂本 かよ

宣教一五〇年実行委員会だより Ⅶ

司祭 サムエル 吉野 暁生

みなさんこんにちは。宣教一五〇年実行委員会です。今回も現在の進捗状況をいくつかお知らせいたします。まず、ロゴマークが完成しました。早速前回の記事から掲載させていただいています。「北海の光」は白黒なの

で、カラー版はお見せできないのが残念ですが、とても良い仕上がりになっています。また、みなさんのところにはそろそろ「宣教一五〇年献金の袋が届いていることと思います。ご協力をお願いいたします。記念聖歌の歌詞公募に、たくさんのアイデアをお寄せくださり感謝いたします。作詞の作業もほぼ完成し、そろそろ作曲に入るところです。老若男女、みなが口ずさみやすい歌になるよう、お祈りください。宣教一五〇年に合わせて、黙想会を計画しています。宣教活動推進部(信仰と生活グループ)の協力を得ながら、

わたしたちの信仰を養うための企画となります。祈りと黙想は、わたしたちの信仰の基本的な部分でもあります。多くの方に参加していただけるよう、開催地は札幌だけではなく、各地の教会も回る予定です。二〇二四年中に四〜五回開催できればと思います。場所と時期を調整中です。続報を楽しみにお待ちください。

平取の二風谷アイヌ文化博物館の協力を得て、「英国聖公会宣教師ジョン・バチラーの足あと」のパネル展を開催できる運びとなりました。まだ場所が決まっていないのですが、記念礼拝に近い時期に行うことができるように調整中です。こちらも続報を楽しみにお待ちください。二〇二四年まであと少し。過去を振り返りながらこれからの未来に向けて頑張っていきます。また来月お会いしましょう。



GFS世界会議に出席して

日本GFSナショナルチャプレン
司祭ヘレン 木村 夕子

八月三日～一日、南アフ

リカ共和国のヨハネスブルグ
を会場に四〇ヶ国と地域から

一〇二名が大集合しました。

日本からの出席者は、雨宮春

子会長、ジュニア代表に選ば

れた吉野礼さんと、日本の本

部チャプレンを務める私の三

名です。成田空港からシंगा

ポールを経由してヨハネスブ

ルグに到着すると、そこは季

節が真冬の南半球で摂氏五℃

の寒さに震えた始まりでし

た。

大ホールを備えた立派な会

場はまるで民族の祭典のよう

な雰囲気でした。沢山の女性

たちと挨拶を交わし、お互い

に笑顔で挨拶を交わし、共に

祈り、バザーで盛り上がり、

祝賀会でドレスアップして写

真を撮り、とても親しみが深

まった九日間でした。

三年ごとに開催されるこの

会議では、各国の活動報告を

分かち合います。日本のハ

イライトとしてGFSで育

ち、リーダーでもある笹森田

鶴主教が誕生したことを伝え

ると、会場は大きな喝采に包

まれました。この事を含めて

日本の活動をレポートした吉

野礼さんは、よく準備をして

立派にスピーチを成し遂げる

ことができました。雨宮春子



豪州のソニア主教 (GFS 育ちです) と共に



ジュニア代表者の集合写真

会長も、日本で展開している

ワールド・プロジェクトの報

告を行いました。東日本大震

災直後の世界会議の議場で福

島へ緊急支援が決定され、そ

の後も継続を願って世界から

献金が届き、GFSによる震

災支援が続けています。これ

は尊い出来事なのだと思っ

て感動を覚えています。

そして世界会議の重要な所

である次のワールド・プロ

ジェクトは、コンゴ共和国G

FSが行うベイカリーでの就

労や自営を可能とする女性の

自立支援の活動に決定し、こ



インターナショナルディの様子

れから三年間世界のGFS全
体で献金を送って支えます。
他にも様々な課題について
話し合いなども行われました。
会長がしっかりと準備をし
た賜物と、礼さんと私で言
葉やツールや人脈で情報を
キャッチして三人のチーム
ワークで頑張れたと思いま
す。

GFSは世界に広がる聖公
会のつながりの中で、少女の
成長を見守りその存在に寄り
添う事を中心に置き、互いに
祈り、互いに成長するために
活動するグループです。GF

Sは聖公会における一つの宝
のような存在だと思いま
す。
最後になりましたが、この

度お祈りとご支援をいただい
た皆様と賛助会員の皆様に、
心から感謝申し上げます。

次回の会議はスリランカで
開催予定です。嬉しい出来事
と収穫の実りを、きっと神様
が与えて下さる事を信じ、世
界の皆さんにお届けできるよ
うに活動をして行きます。



日本語で聖歌を披露しました

教会だより September



▽旭川聖マルコ教会

猛暑の続く中、二三日午後少し暑さの落ち着いた中、多くの出席者と共に教会墓地にて、墓地礼拝を行いました。二〇日礼拝後、バザー開催等について話し合いが行われました。その結果、教会が地域にあることを示す一つの機会として捉える意味においても、コロナ前とは違った形かつ規模を縮小し開催することになりました。

二六・二七北海道北四教会合同礼拝が豊富・稚内にて行われました。当教会より一六名の参加者があり、久し振りに一同会しての楽しい集まりとなりました。

頌栄保育園では夏の行事の一つとして「夏の終わりを楽しむ会」が開催され、教会より婦人会、GFSの方々が出席し、楽しい一時を共にしました。

▽岩見沢聖十字教会

猛暑続きだった八月の岩見沢。初旬、園庭ワークシヨップ。講師と職員によって園外に手作りの新しい遊具が完成。園児達は大喜びです。

二〇日、池田亨司祭司式による逝去記念礼拝。旧美唄と旧岩見沢の召された信徒の名を読み上げました。旧美唄は伝統の巻物の逝去者名簿。山本達郎兄に読んでいただきました。

この日は、マリア石川美千枝姉の納骨式が北海道教区円山墓地で行われました。伴侶の進一兄とお子様方による最後のお別れ。「美千枝姉妹、天国でお会いしましょう」。

▽釧路聖ハウロ教会

▽厚岸聖オーガスチン教会

(伝道所)

八月八日、エリザベツ遠藤由美子姉が天に召されました。葬儀には多くの信徒が参列。

みんながそれぞれの思い出と想いの中で逝去を悼みました。

八月二〇日。笹森田鶴主教三回目の主教巡回。何時もながら、柔らかい声で信徒達を包んで下さいます。説教はマタイによる福音書一五章二二節〜二八節。分かり易い素晴らしい説教でした。礼拝後、集会室で久しぶりのお茶会。

信徒たちの自己紹介を経て和やかな懇談会へ。話題はなかなか尽きず、豊かなひと時を過ごさせていただきました。

八月二十七日。礼拝後恒例の墓地礼拝。水科五郎伝道師の墓前と紫雲台墓地、北斗霊園へ。釧路とは思えぬほど蒸し暑い午後でしたが、墓前に熱いお祈りを捧げました。

▽帯広聖公会

コロナ禍での礼拝も、聖歌が全節歌唱、チャントも歌うようになり嬉しい限りです。大野耕一さんも医師の立場から適切なお話を下さり状況が理解できています。道内他地区と比べて気候が安定している十勝ですが、今年ばかりは全国ニュースで報じられ

る程の高気温が続き辟易とされています。それでも皆さんはお元気で、「宣教の窓」や「み言葉の分かち合い」等の学びの集いに参加されています。大町司祭はご多忙の中、お時間をつくられて信徒宅を訪問してください。感謝です。

▽稚内聖公会 (伝道所)

八月の稚内は警報が出るほどの大雨が度々。建物に被害が出ないか心配しましたが、幸い無事でした。

二十七日、道北四教会合同礼拝を開催、主教練はじめ、札幌から参加して下さった方々もあり、二五名で聖餐式をお奉げする。前日の豊富温泉のホテルでは夕食後、主教練より「チーム北国」の働きと東北教区との今後についてお話を伺う。思えば稚内から

一二〇〇キロ離れた郡山の教会と同じ教区になる可能性があり、想像を巡らしました。宗谷岬は最北端の短い夏を惜しむ全国からのライダーで賑わっています。

▽函館聖ヨハネ教会

六日の礼拝出席者は五三三名(陪餐者三三名)と今季最多。

礼拝後引き続き谷地畝家の逝去記念式、その後教会墓地で藤森喜美江さんの埋骨式。集会室では、日曜学校とGFS合同企画で子どもと大人のイヴェントを初開催。大人三名による「昔子どもだった人の教会でのお話」では質問も出るなど、みんな真剣。臨床美術「一緒にアート/面白い立体づくり」では暑さも忘れて制作に集中、それぞれの作品を皆で鑑賞した。

一三日は上平更司祭による礼拝。午後の定例教会委員会終了後に今金インマヌエル教会へ向かわれる。

二二日小熊美佐子さん逝去、二六日葬送・告別式(藤井司祭)。同日教会墓地にて山口淳子さんの埋骨式(上平司祭)。両司祭の大車輪のお勤めに圧倒される八月でした。

▽平取聖公会

昨年冬に平取町の本町墓地に平取町の合葬墓が整備され、この春から合葬ができるようになりました。早速に町内旭(旧上貫気別)地区墓地にあった聖公会渡邊誠伝道師

みの雨の中、緑ヶ丘の納骨堂前で逝去者のお名前を読み上げながら墓参の祈りをいたしました。

司祭は、他の教会の司祭さんからご紹介いただいた方をお訪ねしたり、ご葬儀の司式をさせていただいたりしました。

暑さでクリーニング屋さんやハンガーが柔らかく伸びて背広が落下してしまいます。

▽室蘭聖マタイ教会

道内では室蘭は涼しいですが、今年では三〇度を越す日もあり、聖書に汗が落ち、急いで拭いた事もあります。

八月二〇日、苦小牧の松井司祭により聖餐の恵みに与る。墓地礼拝のため、軽食をとって望洋台の墓地に向かう。

白老の小林夫妻、当別の高橋夫妻、庭山弘子姉も出席。炎天下でしたが先達の方々に偲びました。

二六日(土)松井司祭による聖餐式。その後、「テモテへの手紙」六章を輪読し、司祭から説明を受ける。酷暑のうちの感謝のひとときでした。

た。

▽今金インマヌエル教会

八月は三日と二七日にそれぞれ、上平司祭、藤井司祭により主日礼拝を守りました。各地酷暑の中、遠い道のりをお越しくださる事、心から感謝致します。二〇日には有志による教会敷地内の草刈りを行い、とても綺麗になりました。連日三〇度を超える真夏日が続く、炎天下で農作業に従事される方々には過酷な毎日ですが、農作物はたくましく順調に育っています。昨年は大雨による甚大な被害がありました。今年も台風などの災害なく、無事に収穫の秋を迎えられますようー主よお守りください。

▽紋別聖マリヤ教会

八月に入り、いつもは涼しい紋別ですが、三〇度前後の猛暑日が続く、大変な夏になりました。八月六日聖餐式の後、小雨の降るなか墓地礼拝が行われました。花を飾り水をやり、草むしりまでは出来ませんでした。先達者の信仰を思い浮かべて祈りを奉げました。幼稚園では一六日に

二学期が始まりました。一日の夕方には夏祭りが幼稚園ホールで開かれ、浴衣姿の園児たちが家族と来園し、ドーナツやジュース、くじやスパーボールすくいなどで楽しみました。

▽新冠聖フランシス教会

今年の夏は雨が少なく異常に暑い日が続いています。

八月の礼拝には、司祭さまは教会の地下納骨室と、新冠判官館墓地礼拝、泊津墓地礼拝へと足を運んでくださいました。八月一三日聖霊降臨後第二主日(逝去者記念聖餐式)では、お盆を迎え故郷にて過ごされたり、久し振りに家族揃って礼拝に来られる方もいらつしゃいます。ご高齢のため、また体調を崩して自宅療養中の方もおられ、寂しい礼拝日もあります。それぞれの立場にあっても主なる神さまは共におられます。主に感謝。

▽苦小牧聖ルカ教会

昨夜、庭から虫の声が聞こえ、一瞬涼し気な風を感じました。数ヶ所の教会を司牧している司祭方、特に乗物を乗り

り継いでいる松井司祭の健康が守られるよう祈る日々です。六日、九日広島・長崎のため、一五日、終戦記念日に点鐘礼拝を、また家庭で黙祷を奉げました。核使用抑止力には両市の役割は大きいですが、気候変動にも人間のできる事は？

六日、小貫満子さん、愛子さん来苦礼拝。その後、有志で墓地へ。

新園舎を建てる際、植松理事長がクーラー設置を薦めてくださったおかげで、また水遊びで園児は快適に過ごしています。三〇日、多田家の教会墓地への改葬。祈る平安！

▽小樽聖公会

八月六日(日)、主イエス変容の日聖餐式。広島原爆の日、平和を祈る。新札幌聖ニコラス教会の信徒二名の方が出席される。池田司祭の前々勤務の教会のお二人を一同歓迎。司祭にとって六年ぶりの再会、その再会をよるこぼ。

一三日(日)小樽聖公会全逝去者をおぼえて聖餐式をおささげする。全逝去者の名前

を読み上げるのは実に四年ぶり。この日の聖餐式、いくぶん時間が長くなる。そのうえ猛暑のなかである。終わったあと、冷やした麦茶を頂く。

▽網走聖ペテロ教会

涼しい風が吹くと心地よさを感じますが、まだまだ暑さが続き、体調の管理に気遣う日々です。一三日、全逝去者記念礼拝・墓地礼拝が行われ、各墓前にお花が供えられ、この日が来るたびに、逝去された方々を想い出します。

毎月のザカリア会、ペテロの会、聖書の学び会、出来る事を感じつつ行っています。和田姉がいつも教会の花壇を整備してくださり感謝。ホームでは一時保護の双子が帰り、女の子が加わりました。出入りの多いホームです。神様の祝福がありますように。

訂正・おわび

八月号(七六九号)の教会だより「北見聖ヤコブ教会」の本文中の「教団の教会」を「兄弟団の教会」に訂正いたします。